



平成22年6月22日

各位

会社名 日本アジアグループ株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 山下 哲生  
(東証マザーズ 証券コード 3751)  
問合せ先 取締役 経営企画本部長 加藤 伸一  
TEL (03) 3211-8868 (代表)  
Website <http://www.japanasiagroup.jp/>

(訂正) 「平成22年4月期 決算短信」の一部訂正について

平成22年6月10日に発表した「平成22年4月期 決算短信」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

1. 訂正内容

- ① 1 ページ サマリー情報 1. 22年4月期の連結業績 (3) 連結キャッシュ・フローの状況  
② 4 ページ 1. 経営成績 (3) 財政状態に関する分析  
③ 8 ページ 2. 企業集団の状況  
④ 24～25ページ 4. 連結財務諸表 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書  
⑤ 36 ページ 注記事項 (連結貸借対照表関係)

2. 訂正箇所

<訂正箇所①>

- 1 ページ サマリー情報 1. 22年4月期の連結業績 (3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年4月期	<u>△541</u>	<u>373</u>	4,833	18,280
21年4月期	△10,471	△2,762	6,143	13,910

(訂正後)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年4月期	<u>△149</u>	<u>△17</u>	4,833	18,280
21年4月期	△10,471	△2,762	6,143	13,910

<訂正箇所②>

4 ページ 1. 経営成績 (3) 財政状態に関する分析

(訂正前)

(省 略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、541百万円のマイナスとなりました。これは主にたな卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、373百万円のプラスとなりました。これは主に定期預金の減少によるものであります。

(省 略)

(訂正後)

(省 略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、149百万円のマイナスとなりました。これは主にたな卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、17百万円のマイナスとなりました。これは主に子会社株式の取得による支出によるものであります。

(省 略)

<訂正箇所③>

8 ページ 2. 企業集団の状況

(訂正前)

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社（日本アジアグループ株式会社）、子会社72社及び関連会社4社により構成されており、主に証券業、投信投資顧問業を行う「金融サービス事業」、地理・空間情報サービスや新エネルギー分野での太陽光発電事業などを行う「技術サービス事業」、不動産の賃貸・管理及び住宅建築・販売を行う「不動産関連事業」を展開しております。

(訂正後)

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社（日本アジアグループ株式会社）、子会社74社及び関連会社6社により構成されており、主に証券業、投信投資顧問業を行う「金融サービス事業」、地理・空間情報サービスや新エネルギー分野での太陽光発電事業などを行う「技術サービス事業」、不動産の賃貸・管理及び住宅建築・販売を行う「不動産関連事業」を展開しております。

<訂正箇所④>

24～25ページ 4. 連結財務諸表 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

24ページ

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	当連結会計年度 (自 平成21年5月1日 至 平成22年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
	(省 略)	
その他	△125,078	<u>1,385,086</u>
小計	<u>△9,454,570</u>	<u>555,023</u>
	(省 略)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,471,961	<u>△541,139</u>

25ページ

投資活動によるキャッシュ・フロー

	(省 略)	
その他	—	<u>606,973</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,762,512	<u>373,905</u>
	(省 略)	

(訂正後)

24ページ

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	当連結会計年度 (自 平成21年5月1日 至 平成22年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
	(省 略)	
その他	△125,078	<u>1,776,769</u>
小計	<u>△9,454,570</u>	<u>946,706</u>
	(省 略)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,471,961	<u>△149,456</u>

25ページ

投資活動によるキャッシュ・フロー

	(省 略)	
その他	—	<u>215,290</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,762,512	<u>△17,778</u>
	(省 略)	

<訂正箇所⑤>

36 ページ 注記事項 (連結貸借対照表関係)

(訂正前)

前連結会計年度 (平成21年4月30日)	当連結会計年度 (平成22年4月30日)
(省 略)	(省 略)
<p>※6 当座貸越契約 (借手側)</p> <p>一部の連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関10行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p>	<p>※6 当座貸越契約 (借手側)</p> <p>一部の連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関__行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p>
(省 略)	(省 略)

(訂正後)

前連結会計年度 (平成21年4月30日)	当連結会計年度 (平成22年4月30日)
(省 略)	(省 略)
<p>※6 当座貸越契約 (借手側)</p> <p>一部の連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関10行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p>	<p>※6 当座貸越契約 (借手側)</p> <p>一部の連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関19行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p>
(省 略)	(省 略)

以 上